

別紙 関連団体資料(理窓会関連団体規程第4条)

(注) この資料は関連団体資料(個人メールアドレスおよび事務局住所を除く)として公開します。

この資料のほか、写真などを加える場合は、PDF 3頁まで関連団体資料といたします。

なお、この資料は、関連団体登録資料として保管しますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

## 関連団体資料

(理窓会関連団体規程第4条)

(2023 年度)

団体名称	理窓光学会	創立	1979	年から				
代表者	舩内 正幸	関連団体役職	会長	mail				
		卒業	1977	年(西暦)	理 I	学部	物理	学科
事務局	阿部 仁一	関連団体役職	運営委員長	mail				
		卒業	1994	年(西暦)	理 II	学部	物理	学科
送付物の際 事務局住所 任意								
会員	154	名	会員構成	理科大の卒業生、教員				
執行部	名称 例.役員会	運営委員会	2	回/年	定期総会	年ごと	不定期	無
	執行部構成 例.会長のほか副会長等	役員構成/会長, 運営委員長1, 運営委員5, 顧問						
会費等		円/年	講演会開催時に参加費2000円、懇親会費3000円					
会報等		回/年						
備考								
団体活動報告	(基本方針) 発足当時の会則によれば;"この会は光学および関連技術全般について互いに勉強し合い、光学応用技術を向上させ、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的とします。"とありますが、発足から半世紀近く経ち、光学技術は様々な産業技術分野の基盤技術としてそのすそ野を広げています。そこで各先端技術分野の専門家を講師として招き、講演会及び親睦会により広く光学応用技術全般についての知見を深め、会員相互の親睦を図ることを方針としています。							
	(2023年度活動状況) コロナも落ち着いたため、例年通り講演会を2回(6/3@森戸記念館, 12/2@ポルタ会議室)開催し、講師を囲んでの懇親会もケータリングサービスを使って実施しました。 また、HCDでは、光に関するパネル展示とリバーサルミラー、万華鏡などの工作実験を実施しました。更に今回は、幹事の一人が所属する会社の網膜ディスプレイをデモ展示しました。運営委員会を2カ月に1回程度開催し、講演会及びHCDの準備を行いました。							
	(2024年度活動計画) 6月と12月の2回、講演会を開催する予定です。 HCDの開催形態が決まれば、それに合わせて出展します。							